



てぶくろがいっぱい

F・スロボドキン作 L・スロボトキン絵 三原泉訳 偕成社

ふたこの きょうだい ネットと ドニーは ひきだしに
ある あかい てぶくろの かずを かぞえてみました。

「1、2、3……4、5、6、7……8、9、10！」

どうして そんなに いっぱい あるのかですって？ ある日、
ドニーが あかい てぶくろを かたほう なくしたのです。

それを知^しった しんせつな ひとた

ちが つぎつぎに、 おちていた てぶ

くろを とどけてくれたのです。

この いっぱいの てぶくろ、 いっ

たい どうしたら いいのでしょうか？

ネットが 思^{おも}いついた いいことは…。

